

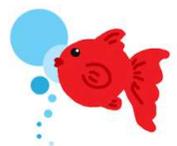
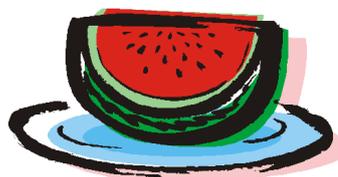
SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

虫めがね	2
虫めがね、歌踊り感想	3
歌踊り感想、港夏まつり感想	4
スケジュール、和栗連載、クイズ	5
小野塚連載	6
岡本連載	7
岡本連載、新メンバー紹介	8
学習会、夕会	9
活動報告、総会報告	10
寄付のお礼、クイズ解答	11
編集後記	12



最近健康番組などで取り上げられている一つに、隠れ脱水（熱中）症というものがあるそうです。これは車内や室内にいてあまりにも熱中しすぎて、水分が汗となって蒸発してるにも関わらず水分補給を忘れて脱水症状を起こしてしまうらしいです。効果的な熱中症予防は、喉の乾きをおぼえる前（1時間に1回）には飲むようにしましょう。

m・k

巻頭文

虫めがね ～好きな芸能人～

僕の好きな芸能人は松下奈緒さんです。

好きになったのはテレビドラマを見てからです。僕は松下さんの写真集とカレンダーを持っています。お嫁さんにしたいです。彼女はピアノが弾けます。凄くうまいです。

いつも応援しています。僕は期待しています。彼女は再来年の大河ドラマに出ると思います。それから、最近、僕の好きな人は岩本のあさんです。彼女はモデルをしています。テレビを見て一目惚れしました。笑顔がすてきであります。出来れば彼女とお姫様抱っこをしてみたいです。とにかく、大好きです。皆さん、恋をしましょう。

柳川敬事

虫めがね

PHOTO SHOW



僕の好きな、映画スターは若いときは、吉永小百合でした。そのかわいくて、純粋なところが、たまらなく好きだったのです。ところが最近になって吉永小百合がまた好きになってきたのです。それは何かと言えば彼女の演技が大人になってきたからです。この間といっても、半年くらい前のことですが、吉永小百合、笑福亭鶴瓶とが共演した〈弟〉が、僕の印象に深く残っています。ですから腰の据わった彼女の演技には、本当に驚かされた次第です。 太田 稔



芸能人では可愛いアイドルが好きです。

AKB 篠田麻里子は26歳に見えないくらい可愛いです。あとは前田敦子、高橋みなみ、板野友美、大島優子が好きです。

若い頃流行ったのはピンクレディけいちゃんみいちゃん 松本伊代 松田聖子です。よ〜テレビに出ていました。

ものまねタレントは福田彩乃、松居直美が好きです。

お笑いタレントはイモトマヤコ、エンタの神様に出ていたエドはるみ、ギター侍の波田陽区が面白くて好きでした。

小林幸子、水森かおりは歌がうまいと思います。

原千晶も可愛いです。

最近植原敬之さんの歌にはまりました。

松本恵司

歌と踊り感想

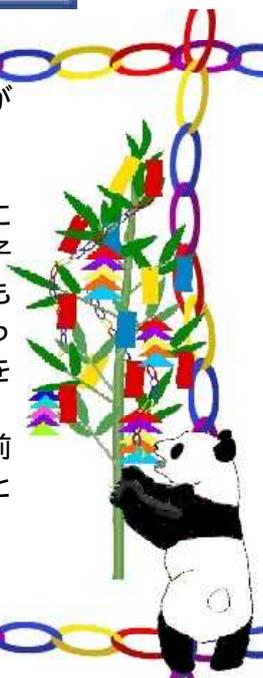
7月7日の七夕の日に、麻布区民センターで、「歌と踊りのつどい」が行われました。港区内の各作業所のメンバーが集い、作業所ごとに、歌、踊り、演劇などを披露し、楽しい一日を過ごしました。

僕達、風の子会は、演劇「サザエさん」を演じました。声優と実際に舞台上で演技を行う俳優に分かれ、何とか演じきりました。僕達、風の子会も事前に相当な時間をさいて練習したのですが、他の作業所の人達も同じく、一生懸命練習した成果を披露したはずで、それぞれ、まとまっていて、とても見事な出し物だったと思います。客席で歌、演奏などを聴いていて、とても楽しかったです。

僕は、「サザエさん」のサザエさん役の声優をやったのですが、事前の練習中に皆から色々とアドバイスをいただいた成果も出たのか、何とかうまくまとまった感じで、ホッとしました。

来年も行われるこのつどいが本当に楽しみです。

ストーン・ゴッド



歌と踊り感想

風の子会はサザエさんをやりました。私はマスオさん役をやりました。本当はイクラちゃん役でバブーと言いたかったけど、マスオさんも面白かったです。

マスオさんの格好をした自分は素敵でした。他の役の格好をしたみんなも素敵でした。来年も演劇がやりたいです。

飯尾直美



港夏まつり感想



私は始めて港まつりに参加させてもらいました。当日は暑い中でしたが、たくさんの方が風の子のお店にきてくれました。私も売り子として、「いらっしゃいませお手に取ってごらんください」と声を出してがんばりました。

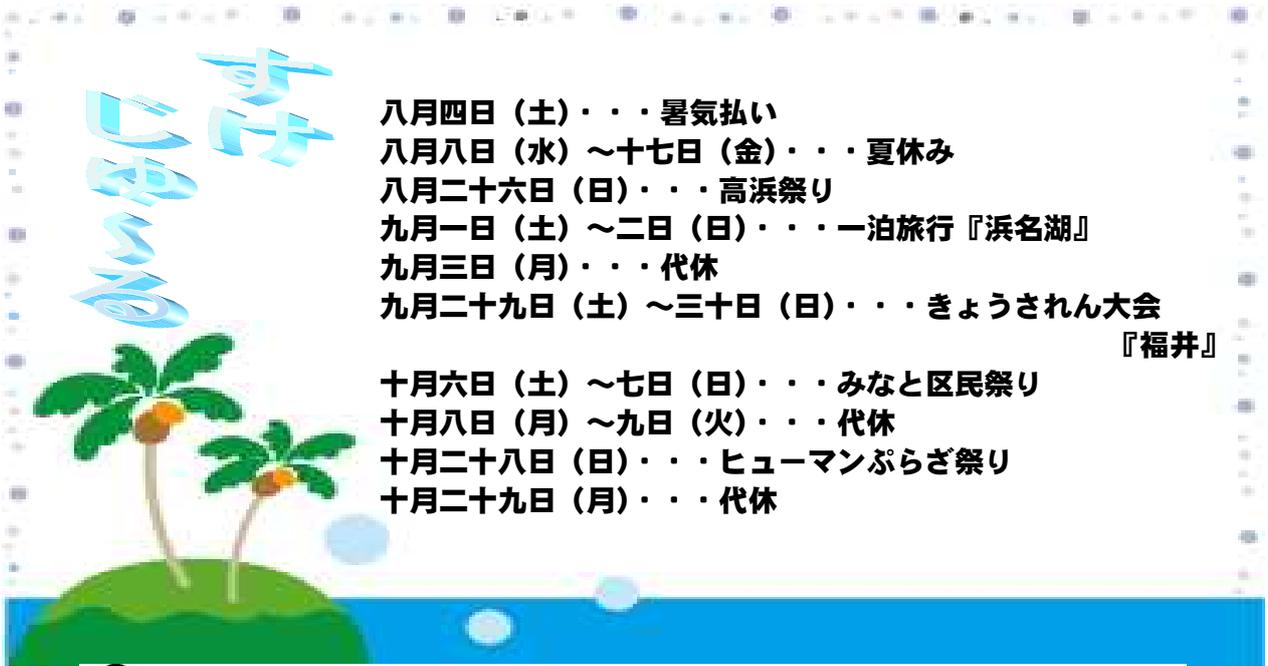
よく売れた品物は、ビーズのアームバンドと、メモ帳がよく売れました。私もうちわとメモ帳を買いました。

それから私は山名さんと一緒に他のお店をまわって見たり食べたりしました。私だけメロンパンと焼き鳥を食べました。2時間ぐらいで終わってしまったので、もう少し長くやってほしかったです。

また来年も参加したいと思いました。

郡清隆





八月四日（土）・・・暑気払い
八月八日（水）～十七日（金）・・・夏休み
八月二十六日（日）・・・高浜祭り
九月一日（土）～二日（日）・・・一泊旅行『浜名湖』
九月三日（月）・・・代休
九月二十九日（土）～三十日（日）・・・きょうされん大会
『福井』
十月六日（土）～七日（日）・・・みなと区民祭り
十月八日（月）～九日（火）・・・代休
十月二十八日（日）・・・ヒューマンぶらざ祭り
十月二十九日（月）・・・代休

Ryo's エニグマルーム

Q, 1 あるパズル作家がサークル仲間との海外旅行先から近況報告の手紙をくれた。この中に彼のまわった国々の名前が隠されているらしい。それはいくつあるか。

『カタカナだらけの手紙を書いたり、案外ラクな毎日だ。老眼だが心配いらんよ。朝はゴルフ、夜ダンス、明日の今頃は空手道場で「オース」「とりいーや!」と汗を流しとることだろう。今後も会員同士、ひらめき志向で頑張りたいと思っている。』

Q, 2 ネズミ算という言葉があるように、ネズミの繁殖力はすさまじい。毎月一回ずつお産をし、その1回で12匹の子どもを産むという。また、生まれたネズミは生後二ヶ月でお産をする。今、生まれたばかりのネズミ1匹を飼い始めた。十ヵ月後にはいったい何匹になっているだろう

Q, 3 5匹のネコは、5匹のネズミを5分間でつかまえることができる。同じ割合でいくとして、100匹のネズミを100分でつかまえるためには、何匹のネコが必要だろう？



栗 あきら

このパン焼き釜大正十二年の関東大震災で、釜の四分の一が破損したが、半月で修復元の形になり、パンを焼き始めた。この日本最古の煉瓦造りのパン焼き釜も、大正十四年になると、釜の温度が下がり、燃料の効率が悪くなつたため、石の釜に変えた。昭和十年代になると電気やガス釜に変つた。以上パン釜の変化の歴史をごく簡単に説明しました。

あんぱん物語 第六回



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

～ あの夏の花火 ～ 「思ひ出ラブソディ part V」

大学に入る前の浪人時代、花火大会を見に行っていたことがある。高校3年の時クラスメイトだった同級生と卒業後に文通を交わす仲となり、その人に誘われたのだ。彼女はフジワラといい、彼女と親しかった友人数名とで連れ立って花火を見に行っていた。僕の実家である八王子は、毎夏大きな花火大会が催される街として有名な街である。夕方、花火大会会場である市民球場にフジワラと友人達とで向かった。

市民球場は、観客でごったがえしていた。そんな中をかき分けながら、僕らは自分たちの席を確保してブルーシートを敷く。球場内では花火前のプレイベントが始まっている。フジワラの隣に座りながら花火が上がるのを待つ。友人達と喋っている中、腹に響くような地響き音と共に真上に花火が打ち上げられる。地鳴りのように響く打ち上げ音、顔に降ってくるように感じられるような火花、そして隣には淡い恋心を抱く異性・・・若き日、青春一歩手前の年頃の、絶対に忘れることのできない1シーンだ。

それから何年か経ち、大学5年になった夏に僕は後輩たちを花火大会に誘った。先輩として恰好つけたかったのかもしれないし、夏の思い出を作りたかったのかもしれない。どちらにしろ、キイチとトモとヒロセとキョウコの4人の後輩が誘いに応じて僕の実家に来た。大学の後輩が家に来たことに喜んだ母は、せっかくだからといってトモとキョウコに浴衣を着せ、花火大会会場までは父が車で送ってくれた。会場の市民球場は数年前に来た時と同じように人で溢れていた。僕らは席を確保して数年前と同じようにプレイベントを見る（後輩たちにとっては初めて見るものだ）。プレイベントが終わると花火が打ち上げられる。数年前と同じように、地響きに似た音が腹を打つ。キイチとトモは付き合っていて、ヒロセとキョウコも付き合っていた。そんな2カップルを招いて、夏の思い出の代表格である花火大会を見物する。先輩としてのささやかな自己満足に浸りつつ、自分の隣には誰もいないことにどこかしら寂しさを感じる。そんな夏だった。

その年の夏には、後輩達と連れだって相模川沿いで催される花火大会も見に行っていた。車3台で、10人近い仲間たちで相模川まで行った。河川敷には多くの屋台があり、盆踊りが行われていた。屋台で焼きそばを買って食べつつ、盆踊りに加わりつつ向こう岸に打ち上げられる花火を眺める。学生時代の、良き思い出の中の一つだ。

夏の思い出は、人それぞれに様々あるだろう。その時その時は、思い出作りなんて意識は全くない。けれども何年か経った後で振り返った時に、ああよかったなあと思えるような出来事は、素敵な思い出であり、絶対に忘れてはいけない記憶だ。それらは海の思い出だったり山の思い出だったり、旅行の思い出だったり花火の思い出だったり・・・と人によって様々あるだろう。僕にとっては、この3つの花火大会は絶対に忘れることのできない夏の思い出だ。

僕は、これからも、こんな素敵な思い出を作れるのだろうか・・・

～ 本編に戻る ～

風の子便り連載

バリアフリーよもやま話 第12回 「見えない美術家」

前回は「聴こえない音楽家」をご紹介しました。となると、今回は当然？「見えない美術家」です。見えない方が一体どうやって絵を描いたり、写真を撮ったり、版画を作ったりできるのか、それもプロとして立派な作品を世に出しているというのは不思議でなりません。でも、実際多くの重度の視覚障害のある美術家が活躍しているのです。

棟方志功（むなかた しこう）氏は 20 世紀を代表する版画の世界的大家で、多くのすばらしい作品を遺しました。彼は極度の近視でした。生前の写真を見ると、版画の板に鼻をつけんばかりに顔を近づけて彫っています。青森の豪雪地帯で育ったので囲炉裏の煤で眼が悪くなった、と言っていたそうです。

名前がナマエという全盲のイラストレータ、エム ナマエ（本名生江雅則）さんは、絵本作家として活躍していましたが、子どもの頃からの糖尿病が悪化して 38 歳で失明しました。見えなくなってからも絵は奥様のために少しずつ描いていましたが、やがてイラストレータとして再デビューしました。ほんのりとした暖かいイラストを描かれます。1992 年に第一線で活躍するイラストレータに与えられる「サンリオ美術賞」を受賞し、2003 年には児童文芸家協会賞特別賞を受賞するなど、障害者アーティストとしてではなく、優れたイラストレータとして認められています。

ジョン・ブランブリッドさんは全盲の画家です。彼は生まれつき脳に傷害があり、その影響で大学 1 年生のとき視力を完全に失いました。失意のブランブリッドさんの心のよりどころは、なんと絵を描くことだったそうです。見えていたときは作家を目指していたそうですが、絵もうまかったのでしょう。その作品は個展を開催するほど高い評価を受けるようになりました。人の顔もしばらく触るだけでそっくりの似顔絵を描けるそうです。「本当は見えてるんじゃないか」と疑った人に対して、すべての電気を消して真っ暗な中で花瓶に差してあったひまわりの花を描いて見せ、ウソではないことを証明したという話もあります。色は絵の具を触って、その手触りで 1,000 色以上を言い当てられるということです。信じられない能力ですね。

プロの写真家のアレックス・デジョングさんは、3 年前に脳腫瘍のために視力を失いましたが、その後もいろいろなハイテク技術を使って芸術作品を生み出しています。彼の携帯電話には、内蔵カメラで検出した光を、明るさは音量で、高さはピッチで表すなど、視覚障害のある人が「音で見る」ようにする支援技術が入っています。これを使って、彼は周りの状況を自分の心の中の映像に置き換えていき、それから高性能のデジタルカメラで写真を撮ります。さらに撮った写真を視覚障害のある人でも使えるようにした支援技術がついた画像編集ソフトを使って、すべて自分だけで作品を仕上げるのだそうです。

8ページに続く

プロではありませんが、視覚障害のある人で写真を趣味にしている方はたくさんおられます。視覚障害のある人の写真作品展覧会も開かれています。作品はどれも見事なものです。もちろん自分では見ることはできないのですが、家族や他の人に見せて、評価してもらったり楽しんでもらうのが喜びで、もう止められない、といっています。



私の元の職場の同僚だった筑波技術大学教授の長岡英司さんは全盲ですが、いつもデジカメを持ち歩いています。この写真は、自宅で愛犬のデージーちゃんがドアを開けようとしているところです。タイミングを見極めてパチリ。生き活きとしたスナップが見事に撮れています。もちろん、失敗も何枚かあるのですが、だからこそうまく

いったときの楽しみと喜びがあるのでしょうかね。

岡本 明

新メンバー紹介



私は郡清隆です。私は音楽好きです。一時期、音楽も聴くこともできなくなりました。でも、このままじゃいけないと思って、音楽を聴いて薬も飲んでいますが、音楽がなかったら自分はどうなっていたかわかりませんでした。

あと野球は阪神がすきです。あとサッカーと食べることがすきです。まとまりのない自己紹介ですが、皆さんよろしくおねがいします。

私が今困っていることは、出かけるときのボランティアの確保です。私は電動クurlマウスを使う時は、必ず誰かつきそいをつけることになっています。それは自分の眼のせいです。今は病院の通院のときにヘルパーが付き添ってくれていますが、自分で遊びに行くときにヘルパーのいないときは、本当はいけないのですが、一人で電動で外に出ています。ヘルパーは、サービス時間が限られているのと、土日はヘルパーがきません。土日のおふろとトイレは親がやってくれています。

でも、外に出るときはほとんど一人出ているので、ヘルパーのいない時に誰か一緒にどこかに行ってくれる人がいないかなと思っています。できればこれは、自分のわがままかもしれませんが、異性の人と遊びに行きたいと思っています。

でも実際には、トイレのことがあるので、所詮無理なことと分かってはいるけれど、ヘルパーも男性しか来ないし、もしも異性の人と出かけることになったら、トイレの時はおしめをしていきます。もしどこか行くことができたならライブやカラオケボックスにも行ってみたいです。

別に障害をもっている人が嫌いなわけじゃなくて、健常者の女性と外に出かけようなんて馬鹿なことってると思うし、馬鹿な夢だけど 叶えさせてください。

私が電動車いすを使う時、なぜつきそいの人が必要と言うと、私は眼の視力が弱いので、つきそいを電動の検定の時に言われ、どこかいく時には父がついて来てくれました。

でも今の電動になってからは、父の手が折れたこともあり、検定の時に言われたことに違反して外にでています。

それから、今母が病気で入院することになって、父とヘルパーと私での生活は大変で、私も父がショートステイに入る時は、自分も一人暮らしをすることになりました。だから今は、本当なら夢とか何とか言っている場合ではないけれど、テレビ見たり、音楽聴いたり外で遊びたいです。夢は風の子の職員の人と遊びに行けたらいいんだけど（笑）

郡清隆

学習会報告

担当
小野塚

5月下旬から7月1週目までの学習会はうたとおどりの集いの練習に費やされた。今年の演目は「サザエさん」。昨年同様に演劇調の出し物だ。昨年の五右衛門はチャンバラ等のアクションが目立つたが、今年はサザエさんたちの会話のやりとりが肝である。台詞に合わせて動くというのは、練習を重ねて覚えていくしかない。本番では岡本所長がハリセンで叩かれる場面で大爆笑を得ていたが、はたして物語はどの程度理解されたのだろうか。

7月2週目。8月までの学習会の内容をみんなで考える。味覚狩りやプールといった活動系のものと、交通ルールや漢字、九九を学ぼうといった勉強系のものが適度に配分された。ただ、意見を言うメンバーが限られているせいか、議論の展開がいつも同じような形になってしまふ。もう少し広がりのある議論にならないだろうか。

3週目。メンバーの田中君と職員石田さんが担当となり、交通ルールについての講義が行われた。高速道路での基本ルールや道路標識についてなど、二人の先生が必死に真面目に教えていた。以前のような職員に頼りっぱなしの体質から少しずつ脱却していけるのではないかと思えた。後半はカードゲーム。トランプ、ウノ、坊主めくりに分かれてそれぞれ楽しむ。レクリエーションという意味ではゲームもその範疇に入るのだろうか、学習会という形を成してはいないのではないかといつも訝しんでしまふ。

4週目。予定では味覚狩りだったが、ボランティア確保が不十分で断念。かわりに翌月のプールについての具体的な詰め作業などを行う時間にあてた。7月はボランティアに来てもらうことが多かったため、学習会まで手が回らなかつたのだ。風の子会はボランティア頼みの部分が多い。今後の風の子会のためにも、若手のボランティア発掘は欠かせない案件である。



六月二日土曜日（きょうされんについて）

今年のきょうされん全国大会に、風の子会の代表として、誰が出席するかが、話し合われました。

六月九日土曜日（きょうされんについて）

今年からきょうされん全国大会に行く人は前もってレポートを提出する事になりました。

（区民祭りについて）

今年も十月の初旬の（六日～七日）、土日に行われる港区民祭りに出店する 会場の場所は、どこが良いかを話し合いました。

六月二十日土曜日（暑気払いについて）

八月の四日に行われる風の子会、恒例の暑気払いの担当者と決めました。メンバーは朝生君、齊藤君、田中君、小野塚君と、

職員は諏訪さん、石田さん、岡本君です。宜しくお願いします。

七月十四日土曜日（赤い羽根共同募金）

赤い羽根から頂く募金の使い道について、みんなで話し合いました。

七月二十八日土曜日（キャッチコピー）

旅行のしおりの表紙を飾るキャッチコピーをみんなで考えました。

夕会便り

担当
太田

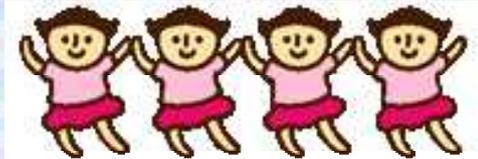
活動報告 6/1~7/30

六月の水曜&土曜は、七月七日（土）に麻布区民センターで行われた『みんなと集う歌と踊り』の演目『ザザエさん』をボランティアさんを交えて練習しました。二十三日の土曜日に、平成二十三年度の総会を午後一時から四時まで行いました。

七月の二十九日（日）行事委員の代表と職員代表者で九月に予定している旅行（浜名湖＝往復十時間弱なので）の下見をしました。

三木直人

総会報告



23年度を締めくくり、24年度を展望する総会は、6月23日にカナルサイド高浜3階会議室で行われました。

議案の内容は、昨年と今年でほぼ変わりなく引き続き課題の追求と活動の充実をめざすものでした。報告・決算、役員選出、方針・予算は、運営委員会の提案通りに承認されました。

理事、監事の役員は全員再任され、運営委員は入れ替わりがあり下記のとおりとなりました。

運営委員会構成員

理事 花田政國、岡本明、井出義文、太田稔
小野塚航、岡本裕介

監事 松本成子、佐久間久仁子

委員 太田圭子、田中聡、三木直人、柳川敬事、幸高史
小野塚満郎、波多野栄子、三木順子
右田イクエ、美馬貴志、諸角始子、田中あけみ
石田菜帆（職員）、岸田貞子（看護師）、諏訪敏子（職員）
平沼実華（職員）、丸山泰慶（職員）、山名宗孝（職員）

井出義文

寄付のお礼

六月一日～七月三十一日

賛助会にご賛同して下さった方

青木和代様、大島冷子様、小野塚智香子様、小久保薫様
中村恭子様、藤森榮子様、右田イクエ様

寄付を下された方

大野ゆきみ様、香山磐根様

ありがとうございました。



元桜寿司の母ちゃんです。病気をしてから早いもので10年が過ぎました。今は息子と一緒に風の子会に来ています。いつも皆さんに賛助会費を送っていただいて、ひとりひとりの名前を見るごとにいろんな事を思い出します。できれば皆さんと会いたいです。

最後になりましたが、お礼の言葉とさせていただきます。いつもありがとうございます。

松本 成子

クイズの解答

A, 1 12 (カナダ、イタリア、イラク、ウガンダ、イラン、ヨルダン、オーストリー、トルコ、コンゴ、インド、メキシコ、タイ) オーストリーは、オーストリアが、オーストラリアと混同され続けてきた為に2006年に日本語表記をオーストリーに変えた。バリを国名だと勘違いする人もいるが、バリはインドネシアにある島である

A, 2 1匹 (1匹だけでは子供を産めないから)

A, 3 5匹 (5匹が5分で、5匹つかまえる。さらに5分続ければ、10匹つかまえる。つまり10分で10匹、20分で20匹と、5匹のネコは、はたらき続けるのである)

